

外観



利便性の高い都心部、三崎町キャンパスに授業を集中した、都市型キャンパス。5号館は、日本大学のスクールカラーである緋色の外観を特色とする。

学生研究室



司法書士や税理士、公認会計士などの難関国家資格試験の合格を目指す学生が集中して勉強できるよう、個別に仕切られている。

4F女性トイレ 洗面コーナー



継ぎ目がなく、清掃性の高いボウル・カウンター一体型カウンターを採用。カウンター上部には化粧ポーチなどの小物を置くことができる。また、防犯・安全対策として洗面コーナーの壁面にも非常呼出ボタンを設置している。

4F女性トイレ パウダーコーナー



広々としたスペースのパウダーコーナー。隣の人の視線を気にせずにお化粧直しができるよう配慮し、個別鏡を設置。パウダーコーナーでも手洗いができるように、1ヶ所手洗器を設置している。

階数表示



各階ごとにテーマカラーを設定した、階数表示。レイアウト表示と併用することでわかりやすいフロア案内としている。

トイレ入口とサイン



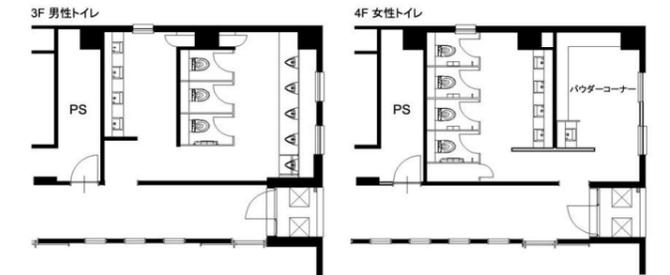
トイレ入口には、内部のレイアウトや設備がわかるよう、表示板を設置。

1F多機能トイレ



車いす使用者やオストメイトの方などさまざまな使用者に配慮している。パウチ・しびん洗浄水栓付背もたれは、ストーマ装具の洗浄に使用できる。

トイレ図面



3F男性トイレ 大便器コーナー



一部のブースには手すりを設置。ウォシュレットは、乾電池不要のエコリモコンタイプを採用。ブースの間仕切り壁は、天井まで立ち上げ、防犯対策とともに個室感を高めている。

3F男性トイレ 小便器コーナー



シンプルデザインと大幅な節水を実現した自動洗浄小便器を採用。従来よりもライニングが低く、荷物が置きやすい。手荷物配慮として、小便器間にもフックを設置している。

建築概要

名称	日本大学法学部5号館
所在地	東京都千代田区三崎町2-4-10
施主	学校法人 日本大学
設計・監理	日本大学本部管財部 株式会社楠山設計
施工	株式会社熊谷組
竣工年月	2016年2月

水まわりの特長

<施設の概要>
日本大学法学部は日本大学の原点として、平成26年に学部創設125周年を迎えた。『司法の日大』復活のビジョンが掲げられている中心学部の一つである。都心のキャンパス内にある5号館は、法学部の125周年記念事業の一環として建てられた。司法科・司法書士科・弁理士科・税理士科・行政科研究室・公認会計士科など、難関試験合格を目指す学生の研究室を主に配置。地上9階建てで、1Fに研究事務課、2Fに司法科研究室事務室と海外留学を支援する国際交流センター、3・4Fは講堂、5Fから9Fは学生研究室を備え、「学び」の拠点として、学生に最適な学習環境を提供している。

<水まわりの特長>
清潔感のある白を基調としている。トイレの配置は、1Fを除き、フロアごとに男女を交互に配置。講堂のある3・4Fは広々としたスペースを確保。特に、4F女性トイレに設置された、ゆとりあるパウダーコーナーは、女子学生から喜ばれている。器具は、床まわりの清掃性にすぐれた壁掛式大便器を採用。便座は電源不要の「エコリモコン」を搭載したウォシュレットをセット。小便器はシンプルデザインと大幅な節水を実現した器具を採用するなど、利用者視点だけでなく、メンテナンス性や環境に配慮した水まわりを実現している。